

高金利先進国債券ファンド 2015-09(早期償還機能付)

愛称：ダブルス 2015-09

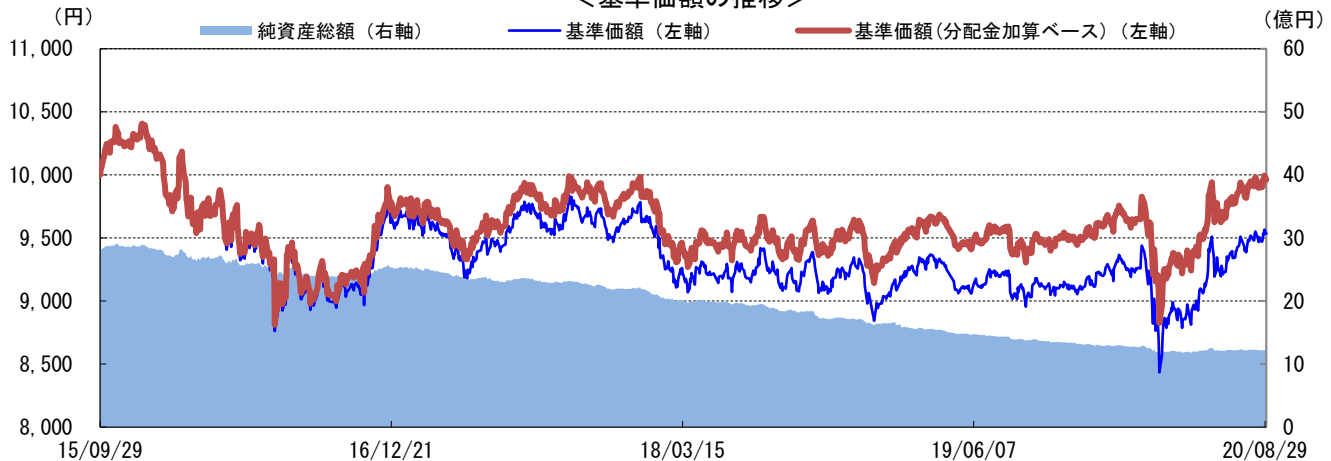
単位型投信／海外／債券

設定日：2015年9月29日 償還日：2021年10月12日 決算日：原則、4月10日、10月10日
 収益分配：決算日毎 純資産総額：12.20億円
 基準価額：9,533円 基準価額(分配金加算ベース)：9,963円

※当レポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。
 ※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。
 ※当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

運用実績

<基準価額の推移>



※基準価額は、信託報酬(年率1.364%(税抜1.24%))控除後の値です。

※基準価額(分配金加算ベース)は、1万口当たり基準価額と設定来の1万口当たり収益分配金(税引前)累計額との合計額をさします。

<基準価額の騰落率>

1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
1.57%	4.56%	3.40%	6.10%	1.87%	-0.14%

※基準価額の騰落率は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金(税引前)を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意ください。

<分配金実績(税引前)>

設定来合計	18・4・10	18・10・10	19・4・10	19・10・10	20・4・10
430円	50円	50円	50円	40円	40円

※分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。

<基準価額変動の要因(直近1ヵ月)>

国	債券要因	内訳		為替要因	信託報酬等 要因	収益分配金 要因
		インカム	キャピタル			
イギリス	-7円	0円	-7円	4円	/	/
ニュージーランド	39円	6円	32円	36円		
ノルウェー	-37円	4円	-40円	104円		
アメリカ	-22円	5円	-27円	18円		
カナダ	-34円	3円	-37円	58円		
小計	-61円	18円	-79円	220円	-12円	0円
各要因合計：債券＋為替＋信託報酬等＋収益分配金＝						147円

※上記の要因分析は概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための目安としてご覧ください。

※インカムとは、利子などから得られる収益です。

※キャピタルとは、金利変動等の影響による保有債券の評価損益の変動と売買損益の合計です。

※発行通貨ベースで国別に分類して表示しております。

投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。

■当資料は、日興アセットマネジメントが当ファンドの運用状況についてお伝えすることなどを目的とし、受益者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。

ポ ー ト フ ォ リ オ の 内 容

<資産構成比>

公社債	93.5%
うち現物	93.5%
うち先物	0.0%
現金その他	6.5%

<利回り等>

平均クーポン	2.65%
平均直接利回り	2.22%
平均最終利回り	0.67%
平均デュレーション	7.0年
平均残存期間	8.6年

※上記は個別債券について加重平均したものです。
 ※直接利回りは、債券の時価価格に対する1年間に受け取る利息の割合を表したものです。
 ※最終利回りは、債券を満期まで保有した場合の利回りです。
 ※各利回りは、将来得られる期待利回りを示すものではありません。

<債券国別投資比率>

	国名	比率
1	ノルウェー	28.6%
2	ニュージーランド	28.3%
3	アメリカ	25.9%
4	カナダ	15.5%
5	イギリス	1.7%

<債券格付別構成比率>

A a a	81.5%
A a	18.5%
A 以下	0.0%
無格付	0.0%

※格付は、ムーディーズ社によるものを原則としています。

<実質通貨別投資比率>

	通貨	比率
1	ニュージーランドドル	27.4%
2	ノルウェークローネ	27.0%
3	アメリカドル	25.2%
4	カナダドル	18.6%
5	イギリスポンド	1.6%

※為替ヘッジは原則として行なっておりません。

<債券セクター別構成比率>

国債	57.8%
地方債	24.8%
政府保証債等	17.4%
その他	0.0%

<債券組入上位10銘柄> (組入銘柄数：68銘柄)

	銘柄	種別	クーポン(%)	償還日	通貨	格付	比率
1	NORWEGIAN GOVERNMENT	国債	1.75	2029/9/6	ノルウェークローネ	Aaa	5.9%
	ノルウェー国債						
2	NORWEGIAN GOVERNMENT	国債	2	2028/4/26	ノルウェークローネ	Aaa	5.4%
	ノルウェー国債						
3	CANADIAN GOVERNMENT	国債	2.75	2048/12/1	カナダドル	Aaa	4.6%
	カナダ国債						
4	NORWEGIAN GOVERNMENT	国債	1.75	2027/2/17	ノルウェークローネ	Aaa	4.4%
	ノルウェー国債						
5	NORWEGIAN GOVERNMENT	国債	2	2023/5/24	ノルウェークローネ	Aaa	3.9%
	ノルウェー国債						
6	TSY INFL IX N/B	国債	0.125	2022/4/15	アメリカドル	Aaa	2.9%
	アメリカ国債(物価連動債)						
7	NEW ZEALAND GOVERNMENT	国債	2.75	2025/4/15	ニュージーランドドル	Aaa	2.9%
	ニュージーランド国債						
8	CANADIAN GOVERNMENT	国債	5	2037/6/1	カナダドル	Aaa	2.8%
	カナダ国債						
9	KOMMUNALBANKEN AS	政府保証債等	1.25	2030/7/2	ニュージーランドドル	Aaa	2.4%
	ノルウェー地方金融公社						
10	NORWEGIAN GOVERNMENT	国債	1.375	2030/8/19	ノルウェークローネ	Aaa	2.4%
	ノルウェー国債						

※「債券国別投資比率」「利回り等」「債券セクター別構成比率」「債券格付別構成比率」「債券組入上位10銘柄」は、マザーファンドの状況です。

※「債券国別投資比率」「債券セクター別構成比率」「債券格付別構成比率」「債券組入上位10銘柄」は、対組入債券評価額の比率です。

※「資産構成比」「実質通貨別投資比率」は、マザーファンドを考慮した実質の値であり、対純資産総額の比率です。

※「実質通貨別投資比率」は外貨建資産の実質的な通貨別の投資比率です。

※「債券組入上位10銘柄」の政府保証債等は、政府保証債、政府機関債、国際機関債などです。

※「債券国別投資比率」は発行通貨ベースで国別に分類して表示しております。

投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。

■当資料は、日興アセットマネジメントが当ファンドの運用状況についてお伝えすることなどを目的とし、受益者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。

運用コメント

※運用方針等は作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

◎市場環境

【ニュージーランド】

ニュージーランドの債券利回りは、低下（債券価格は上昇）しました。ニュージーランドの失業率が低下し良好な結果となったことなどが利回りの上昇（債券価格は下落）要因となった一方、ニュージーランド準備銀行が量的緩和策について国債の買入れ規模を拡大したことや、ニュージーランドの生産者物価指数（PPI）が前四半期を下回ったこと、同国最大都市オークランドでロックダウン（都市封鎖）が延長されたことなどを受けて、利回りは低下しました。

ニュージーランドドルは、ニュージーランドの失業率が低下し良好な結果となったことや、ニュージーランド準備銀行による四半期調査で期待インフレ率が前四半期調査時から上昇したこと、ニュージーランドの主要貿易相手国である中国において製造業購買担当者景気指数（PMI）や貿易収支などの経済指標が市場予想を上回ったことなどから、円に対して上昇しました。

【ノルウェー】

ノルウェーの債券利回りは、上昇（債券価格は下落）しました。政策金利を据え置いたノルウェーの中央銀行が当面のゼロ金利維持の見通しを発表したことなどが利回りの低下（債券価格は上昇）要因となったものの、ノルウェーの8月失業率の改善が市場予想を上回ったことや、消費者物価指数（CPI）が市場予想を上回ったこと、消費者信頼感指数が前四半期から改善したことなどから、利回りは上昇しました。

ノルウェークローネは、ノルウェーの主要産品である原油の価格が上昇したことや、ノルウェーの8月失業率の改善が市場予想を上回ったこと、消費者物価指数（CPI）が市場予想を上回ったこと、消費者信頼感指数が前四半期から改善したことなどを受けて、円に対して上昇しました。

【アメリカ】

米国の債券利回りは、10年国債、5年国債は上昇（債券価格は下落）、2年国債は概ね変わらずとなりました。ニューヨーク連銀製造業景気指数が市場予想を下回ったことなどが利回りの低下（債券価格は上昇）要因となった一方、複数の米国の経済指標が市場予想を上回ったことや、米中両国代表による経済・貿易協定の第1段階合意に関する協議で合意内容を履行することが確認され、米中貿易摩擦の悪化懸念が後退したこと、米国連邦準備制度理事会（FRB）議長の講演を受けてインフレ率上昇期待が強まったことなどが利回りの上昇要因となりました。

アメリカドルは、円に対して上昇しました。米国与野党間での追加景気対策協議に進展がみられず景気の先行きが懸念されたことなどがアメリカドルの重しとなったものの、米国の個人消費支出などが市場予想を上回ったことや、市場予想を上回る米国消費者物価指数（CPI）の発表や米国連邦準備制度理事会（FRB）議長の講演を受けたインフレ率上昇期待などから米国長期金利が上昇したこと、米中両国代表による貿易第1段階合意に関する協議で合意内容を履行することが確認され、貿易摩擦の悪化懸念が後退したことなどから、円に対して上昇しました。

【カナダ】

カナダの債券利回りは、上昇（債券価格は下落）しました。カナダのGDP成長率や住宅着工件数、雇用統計における雇用増加数が市場予想を上回ったことや、米中両国代表による経済・貿易協定に関する協議で第1段階の合意内容の履行状況などが確認され、貿易摩擦の悪化懸念が後退し投資家のリスク選好姿勢が強まったことなどから、利回りは上昇しました。

カナダドルは、カナダの主要産品である原油の価格が上昇したことや、カナダのGDP成長率、住宅着工件数、雇用統計における雇用増加数が市場予想を上回ったことなどから、円に対して上昇しました。

【イギリス】

英国の債券利回りは、上昇（債券価格は下落）しました。英国の鉱工業生産やGDP成長率、8月製造業購買担当者景気指数（PMI）などが市場予想を上回ったことや、米中両国代表による経済・貿易協定に関する協議で第1段階の合意内容の履行状況などが確認され、貿易摩擦の悪化懸念が後退し投資家のリスク選好姿勢が強まったことなどを背景に、利回りは上昇しました。

イギリスポンドは、円に対して上昇しました。欧州連合（EU）との離脱後の将来関係交渉が難航していることなどがイギリスポンドの上値を抑える要因となったものの、英国の鉱工業生産やGDP成長率、8月製造業購買担当者景気指数（PMI）などが市場予想を上回ったことや、首都ロンドンがあるイングランドのロックダウン（都市封鎖）の緩和が発表されたことなどから、円に対して上昇しました。

◎運用概況

投資国の債券利回りが総じて上昇（債券価格は下落）したものの、投資対象通貨が円に対して上昇したことにより、基準価額は上昇しました。

投資国の経済指標、消費者物価指数や景気指数が市場予想より上回ったことや、インフレ率上昇期待や貿易摩擦悪化懸念の後退などの相互作用が利回りの上昇要因となる一方で、ニュージーランドでは新型コロナウイルスの市中感染に伴うロックダウンの延長拡大による経済停滞が懸念されたことなどにより、利回りが低下しました。

◎今後の見通し

今後も市場環境による国別配分の修正の際は慎重に検討いたします。デュレーションについては、パフォーマンス向上を図るために国ごとに調整していく考えです。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。

■当資料は、日興アセットマネジメントが当ファンドの運用状況についてお伝えすることなどを目的とし、受益者の皆様に当ファンドへのご理解を高めるために作成した資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。

**当ファンドについて、2018年10月4日付にて信託期間を3年延長し、
信託終了日を2021年10月12日といたしました。**

ファンドの特色

1. 格付が高く、相対的に高金利の先進国のソブリン債* に分散投資します。

- マザーファンドを通じて投資を行いません。投資国については、適宜見直しを行いません。
- 原則として、為替ヘッジは行いません。
 - * ソブリン債とは、各国政府や政府機関が発行する債券の総称です。主要先進国の国債や世界銀行、アジア開発銀行などの国際機関が発行する債券が含まれます。

2. 2018年9月25日以前の営業日において、基準価額（分配金加算ベース）*が11,000円以上となった場合には、 繰上償還します。

* 以下、基準価額（分配金加算ベース）は、1万口当たり基準価額と設定来の1万口当たり収益分配金（税引前）累計額との合計額をさします。

- 当初信託期間は2018年10月10日までです。
- 基準価額（分配金加算ベース）が、2018年9月25日以前の営業日に11,000円以上となった場合には、マザーファンドの組入比率を引き下げ、短期公社債などによる安定運用に移行後、繰上償還します。

3. 2018年9月26日の基準価額（分配金加算ベース）が 10,500円未満の場合には、信託期間を3年延長します。

- 信託期間延長後は、2018年10月11日以降の営業日において、基準価額（分配金加算ベース）が、10,500円以上となった場合には、マザーファンドの組入比率を引き下げ、短期公社債などによる安定運用に移行後、繰上償還します。
- 信託期間延長後においても、信託期間終了日から起算して10営業日前の日の基準価額（分配金加算ベース）が10,500円未満の場合には、信託期間がさらに3年延長されます。それ以降も、同様の基準に基づいて信託期間延長の有無を判定します。

※1万口当たり償還価額と設定来の1万口当たり収益分配金（税引前）累計額との合計額が11,000円または10,500円以上になることを保証するものではありません。

※安定運用への移行後も繰上償還するまでは、基準価額は市況動向などの影響を受けるため、基準価額（分配金加算ベース）が11,000円または10,500円を下回ることがあります。

市況動向および資金動向などにより、上記のような運用ができない場合があります。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。

■当資料は、日興アセットマネジメントが当ファンドの運用状況についてお伝えすることなどを目的とし、受益者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。